

中米の刑務所火災 - 西日本防災システム

今年2月17日 中米ホンジュラス・コマヤグアの刑務所で火災が発生し、死者が355人にのぼり刑務所火災としては史上最悪と見られているようです。

以下はインターネットからの情報です。

犠牲者の身元確認や調査が進む中、様々な意見や証言、憶測、一部の消防隊員の指摘などが噴出しているようです。

記事では、収監されたまま焼死した、とか、看守が避難のために独房のドアや門を開けることを渋ったなどの生々しい証言もありますが、調査の中で真実は見えてくるのでしょうか。

ホンジュラスなど中南米の刑務所は収監人数が定員を超えていることで有名なんですって。

ホンジュラスには24ヶ所の刑務所があり、現在1万3千人が収監されているんだそうです。火災が発生したコマヤグアの刑務所では定員の倍の852人が収監されていたようです。

出火原因は当初漏電と見られていましたが、ある受刑者が自殺を図って放火したという密告電話もあったようで、原因と死亡者の身元確認には相当の時間が掛かりそうです。

刑務所という完全に施錠された密閉空間での火災ではその対応は難しいものがあるのでしょうかね！わが国でも刑務所だけではなく、施錠された空間が必要な施設はたくさんあると思いますが、こんな事件がありましたので 一度その対策が万全かな？ とお考え頂く機会にして頂ければ……

火災報知機の発報で電気錠を解放するシステムは誤報が多いので遮断！なんてことはないですよ！ ホンジュラスの事件は今から本格的な調査なのでしょうが、いずれにしても 350人を越える人々がお亡くなりになっていますので、とことん真実を追求して頂きたいと思います。

何はともあれ 火の用心をお願いします！



西日本防災システム
NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd
<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 